

2015年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2015年1月9日

上場会社名 株式会社ツヴァイ 上場取引所 東
 コード番号 2417 URL <http://www.zwei.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)縣 厚伸
 問合せ先責任者 (役職名)経営戦略本部長 (氏名)原田 直樹 (TEL)03(6858)6544
 四半期報告書提出予定日 2015年1月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2015年2月期第3四半期の連結業績(2014年3月1日～2014年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2015年2月期第3四半期	2,826	△9.1	66	△34.7	110	△30.1	85	15.3
2014年2月期第3四半期	3,110	0.9	102	△15.1	157	5.7	73	△2.6

(注) 包括利益 2015年2月期第3四半期 115 百万円 (△49.1%) 2014年2月期第3四半期 227 百万円 (30.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2015年2月期第3四半期	21.72	21.50
2014年2月期第3四半期	18.93	18.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2015年2月期第3四半期	5,051	4,086	80.4
2014年2月期	4,873	4,085	83.3

(参考) 自己資本 2015年2月期第3四半期 4,061 百万円 2014年2月期 4,060 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2014年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2015年2月期	—	0.00	—		
2015年2月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2015年2月期の連結業績予想(2014年3月1日～2015年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	1.8	310	14.8	340	5.7	173	16.8	44.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2015年2月期3Q	3,922,200株	2014年2月期	3,906,000株
2015年2月期3Q	298株	2014年2月期	277株
2015年2月期3Q	3,916,291株	2014年2月期3Q	3,899,723株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策から企業収益は改善が見られ緩やかに回復しつつあるものの、景気は足踏み状態が続き、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社は、11月6日に創立30周年を迎えることができました。この30年で社会環境もお客さまの今まで以上にきめの細かなサービスを求めるニーズや当社への期待も大きく変化しております。「幸せな出会いを創造し続ける企業」として、「出会いの品質」を高める取り組みを強化するとともに、お客さまのニーズに確実に応えていくために、「ツヴァイ事業の強化」「クラブチャテオ、ウエディング事業の拡大」等の重点取り組みを実施してまいりました。

しかしながら、その取り組みの業績への反映には時間がかかっており、当第3四半期連結累計期間における売上高は、28億26百万円（前年同四半期比9.1%減）、営業利益66百万円（前年同四半期比34.7%減）、経常利益1億10百万円（前年同四半期比30.1%減）となりました。一方、海外事業の貸倒損失が確定したことによる税金費用が軽減された結果、四半期純利益は85百万円（前年同四半期比15.3%増）となりました。

当社グループは、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。主な事業別の概況は次のとおりであります。

(ツヴァイ事業)

ツヴァイ事業につきましては、当累計期間は資料請求者数の減少により新規入会者数は当初計画を下回りました。しかしながら、付加価値を高めた商品「アクティブコース」の販売に伴いツヴァイ事業の入会単価は、前年下半期58.9千円から当第3四半期連結累計期間は73.6千円と14.7千円増となりました。また、出会いの機会を高めるために、全社をあげて会員さまの出会いを強化する取り組みを実施し、成婚退会者数は前年同期比104.3%となりました。

出店につきましては、契約満了により9月20日にツヴァイレイクタウンを閉店し、12月5日に同ショッピングセンター内に移転し新装オープンいたしました。イオンウエディング併設型の複合店舗であり、従来の相談デスクに加え、当社初となるフォトウエディング用写真スタジオを設置しました。また、11月29日にツヴァイ岡山を「イオンモール岡山」に移転し営業を開始しました。これにより、商業施設店舗は56店舗中13店舗となりました。

11月1日より「AEON サプライズ! 10weeks」と連動させた企画「90日間で出会えなかったら登録料を全額返金キャンペーン」を実施し、結婚相手紹介サービスに関心はあっても、なかなか一歩を踏み出せない独身者に、安心してご入会いただける機会を提供しております。

媒体につきましては、日本民間放送連盟の放送基準の改正により11月1日にTVCMが解禁され、業界初となる地上波でのTVCMの放映を中部エリアで開始しました。また、交通広告や映像媒体を積極的に展開し、認知度の向上とブランディングに取り組みました。

(チャテオ事業)

パーティ・イベント事業であるクラブチャテオ事業につきましては、高単価・多人数参加型の特別企画パーティの開催数を大幅に増加させ、事業の拡大に取り組みました。一方、通常パーティの参加者数を増加させるために、新たなパーティ企画の導入を図りリピート率の改善に取り組んでおります。

自治体との取り組みでは、埼玉県の子供化対策推進事業として「ライフデザイン支援事業」を受託し、9月より、大宮、春日部、所沢の県内3会場で講座を開催しました。また、11月1日～2日に、地域再生プロジェクトとして特定非営利活動法人JENと共同で、石巻市牡鹿半島において婚活イベント「浜こん2014」を開催、11月29日～30日には、NPO法人秋田移住定住総合支援センターとの連携で、秋田県在住の公務員等の男性と県外の独身女性が交流する「AKITA婚ツアー」を開催し、多くのカップルが誕生しました。

(ウエディング事業)

ウエディング事業につきましては、9月4日～8日、イオンレイクタウンで1,000着以上のドレスを揃えたウエディングドレス展示即売会を実施しました。また、ウエディングフェアでは、模擬挙式やファッションショー、メイクアップショー等を実施し、多くのメディアに取り上げられ、ツヴァイのウエディング事業の認知度向上につながりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億77百万円増加し50億51百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億54百万円減少し、23億10百万円となりました。主な要因は、現金及び預金94百万円と関係会社預け金2億50百万円の減少と流動資産その他55百万円の増加によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億32百万円増加し、27億40百万円となりました。主な要因は、新システム構築や店舗移転に伴う設備投資等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億76百万円増加し、9億64百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億54百万円増加し、5億18百万円となりました。主な要因は、買掛金75百万円、前受金52百万円、賞与引当金38百万円の増加等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、4億45百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債30百万円の増加によるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ大きな変動はなく、40億86百万円となりました。主な増減は、利益剰余金減少による株主資本23百万円の減少とその他有価証券評価差額金26百万円の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2015年2月期の連結業績予想については、2014年4月8日に公表しました予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2014年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	309,485	215,355
売掛金	479,249	487,753
前払費用	61,726	72,086
関係会社預け金	1,600,000	1,350,000
繰延税金資産	11,686	28,473
金銭の信託	90,000	90,000
その他	14,286	69,405
貸倒引当金	△1,506	△2,340
流動資産合計	2,564,927	2,310,734
固定資産		
有形固定資産	301,388	329,449
無形固定資産		
ソフトウェア	116,596	76,689
ソフトウェア仮勘定	192,541	603,061
その他	3,650	3,650
無形固定資産合計	312,787	683,400
投資その他の資産		
投資有価証券	1,062,775	1,099,865
敷金	373,695	362,788
保険積立金	257,579	262,825
その他	170	2,183
投資その他の資産合計	1,694,220	1,727,662
固定資産合計	2,308,396	2,740,512
資産合計	4,873,323	5,051,246

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2014年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,777	137,111
未払金	50,757	59,526
未払費用	97,549	115,290
未払法人税等	53,737	-
未払消費税等	9,540	47,752
前受金	44,641	97,611
賞与引当金	13,978	52,313
役員業績報酬引当金	2,243	1,715
設備関係未払金	45	1,379
事業整理損失引当金	24,000	770
その他	5,613	5,159
流動負債合計	363,883	518,630
固定負債		
退職給付引当金	60,832	60,493
繰延税金負債	275,750	306,293
資産除去債務	70,635	71,157
長期末払金	16,260	7,750
固定負債合計	423,477	445,694
負債合計	787,361	964,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	445,347	449,472
資本剰余金	451,341	455,464
利益剰余金	2,525,542	2,493,445
自己株式	△344	△362
株主資本合計	3,421,885	3,398,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	635,426	661,637
為替換算調整勘定	3,595	2,035
その他の包括利益累計額合計	639,022	663,673
新株予約権	25,055	19,236
少数株主持分	-	5,990
純資産合計	4,085,962	4,086,920
負債純資産合計	4,873,323	5,051,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年11月30日)
売上高	3,110,996	2,826,695
売上原価	1,496,828	1,264,109
売上総利益	1,614,168	1,562,585
販売費及び一般管理費	1,511,721	1,495,689
営業利益	102,446	66,895
営業外収益		
受取利息	3,284	2,251
受取配当金	24,881	26,204
為替差益	25,628	14,611
その他	2,078	731
営業外収益合計	55,874	43,799
営業外費用	654	441
経常利益	157,666	110,254
特別損失		
固定資産除却損	3,827	3,304
賃貸借契約解約損	2,636	-
事務所移転費用	4,310	-
特別損失合計	10,775	3,304
税金等調整前四半期純利益	146,890	106,950
法人税、住民税及び事業税	94,159	11,383
法人税等調整額	△17,397	2,877
法人税等合計	76,762	14,260
少数株主損益調整前四半期純利益	70,128	92,689
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,687	7,614
四半期純利益	73,816	85,074

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,128	92,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	179,273	26,211
為替換算調整勘定	△22,272	△3,184
その他の包括利益合計	157,001	23,026
四半期包括利益	227,130	115,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242,176	109,725
少数株主に係る四半期包括利益	△15,046	5,990

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。